

学校便り 信明の窓

皆さんを見守る“飛翔”の二文字。“飛翔”とは、自分の殻を破る勇気のこと。空を見上げるたびに思い出してください。皆さんがもつ飛翔の翼は、これから何度でも困難を打ち破っていくはずです。

明日3月18日、3年間にわたって信明中学校を支え、後輩を導いてきた3年生89名が、それぞれのめざすべき“笑顔”に向かって力強く羽ばたいていきます。3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして今まで、本当にありがとうございました。皆さんのこれからのさらなる成長とご活躍を、在校生・職員一同、心より祈っています。



飛翔碑と松。“飛翔”は谷川名人の揮毫。松は神がその木に宿るのを“待つ”の意とされ、成長・繁栄の象徴とし尊ばれてきた縁起木です。信明中学校の校章にもなっています。

祝★卒業

卒業生、3年間の軌跡

令和5年4月：入学式～新しい出会い、そして挑戦の始まり——『桜が散り始めたころ、緊張しながら入学式を迎えました。`新しい～`、`勉強に～`、など、たくさんの不安があります。そんな不安の中で始まった中学校生活を充実したものにするため、大切にしていきたい目標が2つあります。1つ目は`何事も楽しむこと`です。不安でさえ楽しめたら、もはやそれは不安ではなくなると思うからです。2つ目は`何事にもチャレンジすること`です。自分は担任の先生に出会ってチャレンジすることのすごさを知りました。これかの3年間、何事にもチャレンジし、そのチャレンジを楽しみたいと思います』

7月：高遠フィールドワーク～自分にできることって何だろう——『高遠フィールドワークでは、常に`自分にできることって何だろう`と疑問をもちながら行動しました。その結果、私は高遠で3つの`新しい自分`を発見しました。1つ目は`積極的に活動に取り組める自分`です。オリエンテーリングで道に迷ったとき、積極的に班の意見をまとめることができました。2つ目は`気づいたことを行動に移せる自分`です。野外炊飯では班だけでなくクラス全体の片付けを率先して行うことができました。3つ目は`なぞなぞが得意な自分`です。オリエンテーリングで次々と正解を出し、思いがけないところで自分の`得意`を発見できてうれしくなりました。高遠ではクラスの仲間とのかかわりもグッと深まり、日常ではできない体験もでき、とても良かったです。』

9月：初めての飛翔祭～十人十色：見つけよう僕たちだけの色——『私は飛翔祭で学んだことが4つあります。1つ目は`飛翔祭は全校でつくられる`、ということです。3年生がメインであっても、1・2年の力は欠かせません。2つ目は`個性の豊かさ`です。フリーステージで発揮される一人一人の個性は私の想像をはるかに超えていました。3つ目は`信明オリンピック`です。協力し、声をかけ合い、カバーし合い、一人一人もがんばる。クラスの`強さ`とはこういうことだと思いました。4つ目は`合唱`です。特に`校歌`は気持ちよく歌えました。きっと学年が一体になっていることが実感できたからです。3年生の合唱は鳥肌でした。来年はこの合唱をめざします。』

令和6年7月：中堅学年～職場体験学習を通して考える私の夢——『職場体験学習で中央図書館に行きました。将来、図書館で働きたいという夢があるので、この機会に仕事を体験してみたいと思いました。体験したのは、本の整理や返却された本を棚に戻す作業、バーコードを使った貸し出しや返却の手続きなどです。本は細かい決まりにしたがって並べられていて、利用する人が探しやすいように工夫されていることを知りました。実際にやってみると、立っている時間が長く大変でしたが、前からやってみたかった仕事を体験でき、自分の将来の夢を本気で考えるきっかけになりました。』



入学式

桜の花びらが美しく舞う中でした



入学学活

希望を胸に新生活スタート!!



1年：高遠フィールドワーク
大自然を満喫しました



野外炊飯：カレーをおいしくいただきました



1年：飛翔祭

信明オリンピック
(大玉送り)



2年：職場体験学習
図書館 消防署

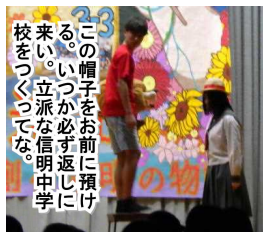
9月：二度目の飛翔祭～雲外蒼天：手を取り合い、未来へ紡ぐ40周年—
—『2日目は音楽会でした。どの学年も、どのクラスもとても良い合唱でした。2年生が最初でとても緊張したけれど、みんな、とても良い声で、自分もがんばって最後まで歌いきろうと思えました。3年生の合唱は、全員の声が体育館に響きわたり、さすがは3年生!と思いました。私たちも昨年からかなり歌声に厚みが増してきたと思いましたが、3年生の合唱を聴くとまだまだです。私たちも1年後には、このような歌声をめざしたいです。この2日間で学んだことを、これからの学校生活や来年の最後になる飛翔祭に生かしたいです。』

令和7年4月：最高学年～修学旅行、そして最高の出発——『4日前から特訓が始まりました。『10、9、8、7…』という声が聞こえると全員が一瞬で写真隊形になる練習です。最初はバラバラで、全員が写るようにまとまることができませんでした。当日、出発の会が終わるとすぐにカウントダウンが始まりました。朝5時だったので、まだボーっとしている人もいましたが、条件反射で隊形をつくり、桜の下で笑顔の写真を撮ることができました。最高の出発です。この瞬間、私はこの修学旅行は勿論、この1年間はステキなものになると確信しました（実際、一気にクラスの仲が深まった最高の3日間になりました）。この経験を生かし、飛翔祭も受験もクラスでまとまって臨んでいきます。』

9月：最後の飛翔祭～笑顔進光：最高の仲間と創る信明の物語——『飛翔祭の音楽会で3学年は『大地讃頌』を歌いました。この曲は場面がたくさん変わり、音もとりづらい上に高音の多い難曲で、とても苦戦しました。しかし、だからこそ学年全員で歌う『大地讃頌』を絶対に良い合唱にしたいと思い、練習してきました。本番は音楽会の最後を飾り、私たち全員で歌声を体育館に響かせることができました。真剣な表情で歌っている一人一人の姿に感動し、指揮を振っていた私もとても楽しかったです。今まで私たちが3年生の合唱を聴いて感動してきたように、たくさんの人を感動させられる合唱になっていたら、とてもうれしいです。』

3月13日には、全校が集まって**3年生を送る会**を開催しました。2年生による生徒会が計画を立て、1・2年生からの発表や先生方からの言葉で、3年生の卒業を祝福することができました。3年生は後輩に向けて学校生活の秘訣を伝授し、「**進路選択と恋愛は似ている。どちらも努力なしでは実らない!**」と熱いメッセージを送ってくれました。また、後輩からは3年生に向けて感謝のエールを送り、3年生の旅立ちに勇気を添えることができました。

3年生の3年間の取り組みが困難を打ち破る真の羽ばたきとなり、一人一人がめざすべき『笑顔』の地に達することを心より願っています——。



本日3月17日、明日の卒業式に先立ち、3学期終業式・離任式を行いました。終業式で所感を発表してくれたのは、**1年代表（女子）、2年代表（男子）、3年代表（女子）**の3名です。ありがとうございました。また、丸山校長先生より、次のようにお話をいただきました。『皆さんは、この1年でどんなことを頑張りましたか。今日は「これからの時代に身につけたい力」についてお話しします。国際的な調査では、日本の学力は世界トップクラスですが、勉強する意味や社会との関わりを実感している人は少ないという結果が出ています。だからこそ、これからの時代は「どれだけ知っているか」ではなく、「知識をどう使えるか」が大切になります。AIが発達する社会では、知識を使って考え、判断し、行動する力がますます求めらるようになります。学校の学習はすべて「考える練習」です。学力はゴールではなく、「考えるための道具」なのです。皆さんにはぜひ、自分の頭で考え行動できる人に成長してほしいと思います。』

◆第41回信明中学校卒業証書授与式◆



保護者の皆様、地域の皆様、1年間にわたり、信明中学校の教育活動を支えていただき、誠にありがとうございました。不透明な社会情勢が続く中、卒業式を迎えることができますのも、保護者の皆様によるご支援・ご協力があったることと、心より感謝申し上げます。